

梅北だより

前期学校評価特別号

平成29年10月6日発行
京都市立 梅津北小学校
校長 塩貝 美鈴

平成29年度前期学校評価結果のお知らせ

保護者の皆様には、お忙しい中7月に実施しました「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。結果がまとまりましたのでご報告いたします。

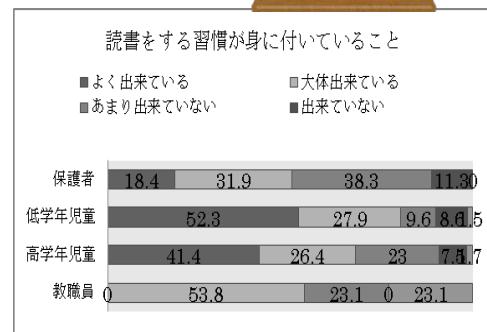
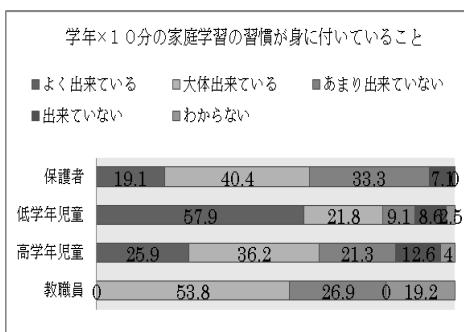
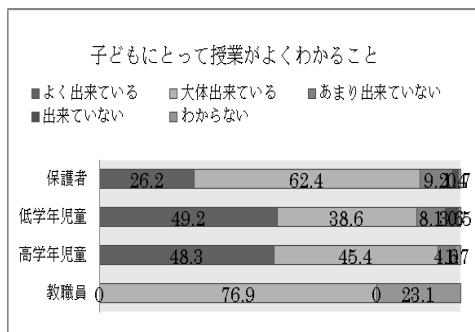
梅津北小学校が学校教育目標の実現に向けて、特に大事にしたいことに絞ってアンケートをとり、保護者・児童（低学年、高学年）・教職員の3者を比較できるようにしました。継続すべきところ、改善すべきところを明らかにして、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

アンケートの方法

アンケートの項目を、【◆確かな学力】【◆豊かな心・健やかな体】【◆学校・家庭・地域の連携】のグループに分け、それぞれの項目について「重要度－実現度」を尋ねる形式にしました。この二つを相互に関連させたとき、重要度・実現度がともに高い項目は比較的肯定的なご意見が多く、重要度が高く実現度が低い項目は本校の課題とみることができます。

アンケート結果より ～全項目は掲載できませんので、ご了承ください。～

【◆確かな学力】

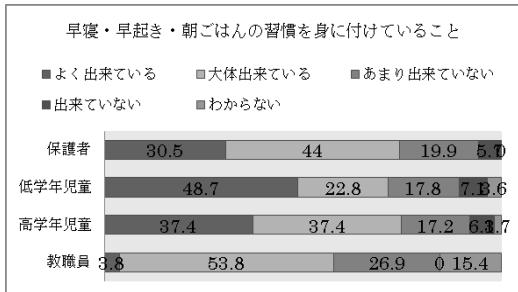
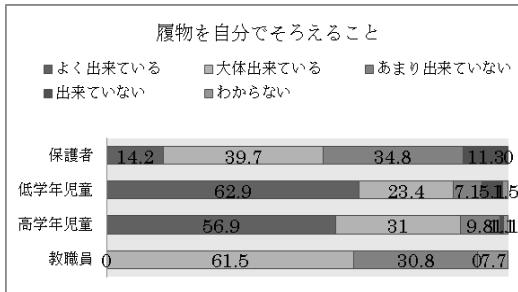
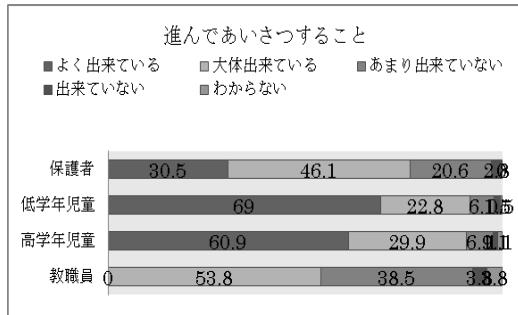
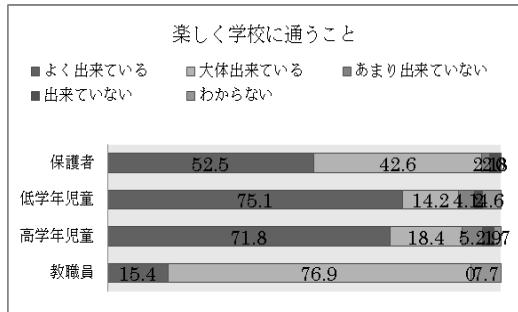


『子どもにとって授業がよくわかること』は、「よく出来ている・大体出来ている」が非常に高い割合となっています。毎時間、＜課題＞と＜大事＞を対応させて授業を行うことで、授業の理解が図れているのだと思われます。一方『学年×10分の家庭学習の習慣』については、保護者・教職員の約30%が「あまり出来ていない・出来ていない」と感じており、高学年児童も同じ傾向にあります。低学年児童は70%以上が「出来ている」と感じているので、低学年での取組を高学年へつなげていければと思います。授業で理解したことを定着させるために家庭学習は有効ですので、サポートしていただければと思います。『読書習慣』では、児童は約70~80%が身に付いていると感じていますが、保護者の約半数が「あまり身に付いていない・身に付いていない」と感じています。児童と保護者の割合に開きがみられました。学校では、朝の待時間（おはようタイム）に読書をしたり、各教科での調べ学習で図書を活用したり、本にふれる機会が多いです。ご家庭でも時間を決めて読書をしたり、土曜日や日曜日の図書館の催しに参加したりして、本にふれる機会を設けていただけたらと思います。

【自由記述欄より】

- 放課後の活動において、1年生でもクラブのようなものがあつても良いのではと思います。例えば、自習活動や読書、スポーツ、音楽、絵画など学術的活動があると楽しいと思います。
 - 文章を書く力をもっとつけてほしい。作文が少ない。
 - 授業のねらいを、あらかじめ児童に伝えてから実技を伴った授業をする場合と、後で説明をする場合とあると思いますが、時間切れで後から説明できないということがないようにしてもらいたいです。
- ⇒1年生の放課後の活動については、10月より放課後まなび教室への参加が始まります（申込者）。部活動については、競技の特性などから入部の学年を決定しています。学習指導については、より良い指導法について研修を積み上げていきたいと思います。

【◆豊かな心・健やかな体】



[自由記述欄より]

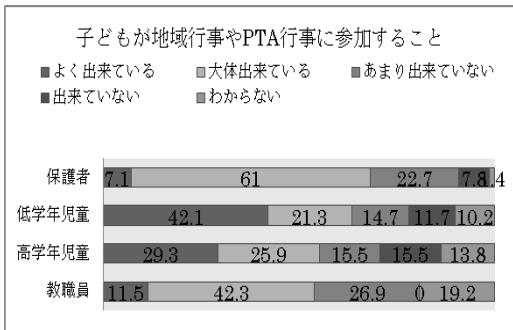
- 子どもは毎日楽しく学校に通っています。クラス全体が仲良く楽しく明るいので安心して通わせられます。
- 何にでもチャレンジできる伸び伸びした環境と、守らなければならない規律を示してもらっているので、家庭でも、できるだけその様にしたいと思っています。
- ⇒子どもにとって、学校や学級が安心できて居心地のよい場所になるよう、全教職員でこれからも努力していきたいと思います。
- 朝から地域の人や先生がおはようというあいさつをしてくれて、とても気持ちが良いと思います。子ども達にも自主的におはようやさようならのあいさつができるようになってほしいと思います。
- 知ってる人や先生、友だちに会ったら、積極的にあいさつができるようになってほしいです。
- 登校時のあいさつが、もっと大きな声でできると良いと思います。
- ⇒あいさつに関わるご意見が多かったです。「自主的」「積極的」「大きな声で」が教職員も考える『気持ちの良いあいさつ』です。地域はもちろん、ご家庭とも協力しながら取り組んでいきたいと思います。

『楽しく学校に通うこと』は、保護者・教職員の重要度が高い項目です。保護者・児童・教職員とも「よく出来ている・大体出来ている」が約90%と非常に高い割合でした。児童については、『学校や学級のきまりや約束を守れること』・『友だちと仲良くすること』の項目についても約90%が「よく出来ている・大体出来ている」と感じていました。ご家庭での励ましはもちろん、子ども達が感じている毎日の学校生活の充実が楽しく学校へ通えていることにつながっていると考えます。

学校では規範意識を育てるための取組《あいさつ・そうじ・スリッパ》は数年継続しています。『進んであいさつすること』は少しずつではありますが「よく出来ている・大体出来ている」の割合は年々高くなっています。月2回のあいさつの日の活動を中心に、地域の方や中学校とも連携してあいさつ運動に取り組んでいます。教職員に「よく出来ている」の割合が少ないのは、まだまだ気持ちの良いあいさつができる余力を感じているからです。学校でも取組を続けますが、ご家庭でもお声かけいただけたらと思います。『履物を自分でそろえること』については、「あまり出来ていない・出来ていない」と感じる保護者・教職員が約30~45%に対して、児童は約80%が「よく出来ている・出来ている」と感じています。特に「よく出来ている」と感じている割合が高く、保護者・教職員と児童の意識に大きな差があります。学校では、保健室での検診やトイレのスリッパなど、履物をそろえることへの意識が高い児童は増えてきていますが、家庭や普段の生活の中では履物への意識が低いのだと考えられます。学校では出来てきていますので、ご家庭でも働きかけていただければと思います。

『早寝・早起き・朝ごはんの習慣』では、「よく出来ている・大体出来ている」と感じている保護者・児童は70%を超えています。これらの習慣の大切さをご家庭でも理解していただきたいです。栄養教諭・養護教諭を中心に、『食の大切さ』や『睡眠の重要性』などを指導したり、おたよりを通してご家庭へお知らせしたりしています。学習効果を上げることにも非常に重要ですので、継続して取り組んでいきたいと思います。

【◆学校・家庭・地域との連携】



『学校が、教育方針や教育活動の状況を分かりやすく伝えること』・『学校が、家庭・地域と連携し、「地域総ぐるみ」の教育を推進すること』の2項目では、学校の取り組みについて保護者の皆様にご理解いただき、実現度も「よく出来ている・大体出来ている」で約85%の高い評価をいただいています。「有栖川での学習（1・2年）」「芋ほり・焼き芋（2年）」「昔のくらしの学習（3年）」の際には、地域の方にお手伝いいただき、貴重な学習の場となっています。また、『子どもが地域行事やPTA行事に参加すること』については、70%近くの保護者の方が、「よく出来ている・大体出来ている」と感じてられます。PTAや地域の方々には登下校中の見守り活動や休日のイベントなど、子どもたちが安全で楽しく過ごせるように取り組んでいただいている。

本校の児童は、学校だけでなくPTAをはじめ地域の各種団体の方々に見守られる中で、様々なことを学んでいます。また、地域行事に参加し、「楽しかった」と感じる経験を積むことで、「人の役に立ちたい」という思いも芽生え、自己有用感の高まりにつながります。お忙しいと思いますが、今後も積極的に児童や保護者の方のご参加・ご協力をお願いします。



[自由記述欄より]

- ホームページは、行事や授業、休み時間の様子などが写真と一緒に紹介されているので、楽しんでみています。まことに更新されていて、ありがとうございます。
- 前年度より、先生(担任)のホームページ記載や写真がなくなったので、先生目線(担任)の言葉とか、どんなことをしたのかなど、分かりづらくなつたように思います。
⇒担任だけでなく、全教職員で学校の様子をホームページでお知らせできるよう努めています。また、学級通信や学校だよりなどでも積極的に子どもたちの様子をお伝えしていきます。
- PTAの役員のみなさまには、ご尽力いただき感謝しております。参加する家庭が少なく特定の家庭の負担が大きくなっているように感じます。より多くの参加者が集まれば、交流の場としても機能するのに…と思います。
- 共働きが増え、「今までこうだったから…」という様な理由でPTAの活動をしていくのは難しくなってきていると思います。できるだけ軽減できる様に、学校・先生方からも発信していただきたいです。
⇒「梅津北小の子どもたちのよりよい成長」という視点を大事にしながら、PTA活動についても考えていくたいと思います。保護者の皆様にはご協力いただくことも多いかと思いますが、よろしくお願ひします。
- 参観日が(水)・(金)のことが多く仕事上、見に行ってやれていません。年間予定で曜日は決まっているのでしょうか。残念です。
⇒年間を通して、参観日や行事、個人懇談会などの曜日が偏らないように計画しています。来年度以降も、偏りがでないよう計画していきます。
- 一人ひとりの個性を大切にし、教育をして頂けていると思います。個人に合った課題の与え方をして頂け、ありがとうございます。
- 子どもの悩みをもっと真剣に聞いて対応してもらいたい。
- 自分も含め、一方的な関わり方ではなく、相互的な関わりを持ち、出来ることは小さい事かも知れませんが、親も子も共に成長できればと思います。
⇒子ども一人ひとりを丁寧に見つめ、学校・家庭・地域と連携しながら取組を進めていきたいと思います。保護者の方同様、学校も「よりよい梅津北小学校」を目指し、成長していきたいと思います。



いろいろなご意見をいただき、ありがとうございました。いただいた全てのご意見は掲載できていませんが、ご意見・アンケート結果について、全教職員で共有しています。その中から、成果としてとらえられる項目に関しては、今後も継続して取り組んでいき、課題としてあげられる「家庭学習の習慣」や「あいさつ」、「履物を自分でそろえる」などについては、保護者の皆様のお声を真摯に受け止め、学校として改善につなげたいと思います。ご協力ありがとうございました。

【学校運営協議会でのご意見】

・授業の時数が増えた場合、集中力が持つのだろうか。また、帰宅の時間が遅くなり家庭学習の時間の確保が難しいのではないかと思います。低学年の児童は児童館ができるが、高学年児童は部活動等していると、帰宅時間が遅く、学年×10分の時間が確保できているのか気にかかります。

・家庭学習の習慣が付けられるような環境を、整えることは難しいと感じます。



・寝ない（眠れない）ことから睡眠不足が蓄積されて、学校に登校できない場合もあります。家庭学習同様に、睡眠時間も確保してやりたいと思います。

・決まった時間に起きるが、決まった時間に寝ない児童が多いです。

・朝の支度が遅く親が注意をしますが、注意の仕方や言い方が気にかかります。親（大人）がゆとりをもって生活できないと、子どもにもゆとりをもって注意できないと思います。その関わり方が、いつか自分に（親に）返ってくるのではないかと心配になります。



・道徳の評価が、前期末から出てくるということで、家とはちがう様子を伝えてもらえるのはうれしいことです。

・『有栖川を考える会』と1・2年生の川遊びの活動では、1年・2年の児童は目的を明確にして活動に参加していました。『有栖川を考える会』のメンバーの方から、川遊びの素晴らしさだけでなく危険についてもお話をありました。投網の経験をしたり、自然と触れ合ったりと心に残る取組になっています。保護者にも参加を呼びかけて、安全面での見守りだけでなく、地域の自然について目を向けてもらえる機会になると思いました。

前期が終わり、来週から後期が始まります。運動会・学習発表会などの行事や、参観・懇談会と学校に足を運んでいただく機会はたくさんあります。学校ホームページやお便りなどでも、子どもたちの学校での様子を発信していきます。子どもたちの学校生活の様子を見ていただき、お気づきになられたことは学校までお知らせください。また、各ご家庭で、子どもたちの努力・頑張りを見つけて、しっかり認めていってほしいと思います。